

令和2年度第1回独立行政法人造幣局契約監視委員会議事概要（持ち回り開催）

開催日時及び場所 令和2年6月4日（木）～6月16日（火）（持ち回り開催）

委員 谷口 勢津夫（大阪大学大学院高等司法研究科 教授）  
瀧 洋二郎（浅岡・瀧法律会計事務所 弁護士）  
石田 眞得（関西学院大学法学部 教授）  
吉持 敏彦（独立行政法人造幣局 監事）  
村上 佳子（独立行政法人造幣局 監事）

審議対象 調達等合理化計画について

- （1）令和元年度の自己評価の点検
- （2）令和2年度の計画策定の点検

個々の契約案件の事後点検【令和元年度下期（10月～3月）】

- （1）新規の随意契約となった案件 2件
- （2）2か年度連続一者応札・応募契約となった案件 4件
  - ・うち一般競争入札で一者応札のもの (0件)
  - ・うち公募で一者応募のもの (4件)

調達等合理化の推進に向け議論すべき事項

- （1）合理化計画の実施状況の点検
  - ・契約全体の一覧表による点検
- （2）随意契約における予定価格の適正性及び価格合理性の担保に係る点検
  - ・随意契約及び一者応札・応募契約におけるいわゆる落札率（契約金額／予定価格）による点検

委員からの意見・質問、それに対する回答等

下記のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容

特になし

意見・質問	回答
<p>『調達等合理化計画』について</p> <p>(令和元年度の自己評価点検について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見・質問なし。</li> </ul> <p>(令和2年度の計画策定について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見・質問なし。</li> </ul> <p>『個々の契約案件の事後点検』について</p> <p>(価格の合理性について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約先が1社しかない案件の予定価格は具体的にはどのように算出されたのでしょうか。</li> <li>・契約金額＝予定価格(100%)という結果を合理的に説明する必要があると考えますが、いかがでしょうか。</li> </ul> <p>(契約一覧表について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物品役務で低入札となった案件について、履行に問題なしとの確認は、契約締結前に契約書の内容に照らして行われているのか、あるいは契約締結後に履行実績に照らして行われているのか、いずれでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の契約実績額や一般的な報酬についての調査等により得られた金額を参考に予定価格を設定している。</li> <li>・過去の契約実績等を参考に予定価格を設定しているが、相手先が1社しかない場合は、当該者との契約実績額を踏まえ予定価格を設定するため、落札率は高くなる傾向にあり、稀に結果的に落札率が100%になってしまう案件もある。</li> <li>・いずれの案件についても、契約締結前に契約内容の履行には問題がないことを確認したものです。</li> </ul>